

吉田 稔 筆

平成30年10月 No.127

● 編集・発行
柏市増尾地域ふるさと協議会
(土地区社会福祉協議会)

〒277-0033
柏市増尾三丁目1番1号
増尾近隣センター内

☎ 04-7174-7211

みんな元気 住んで良かった この地域

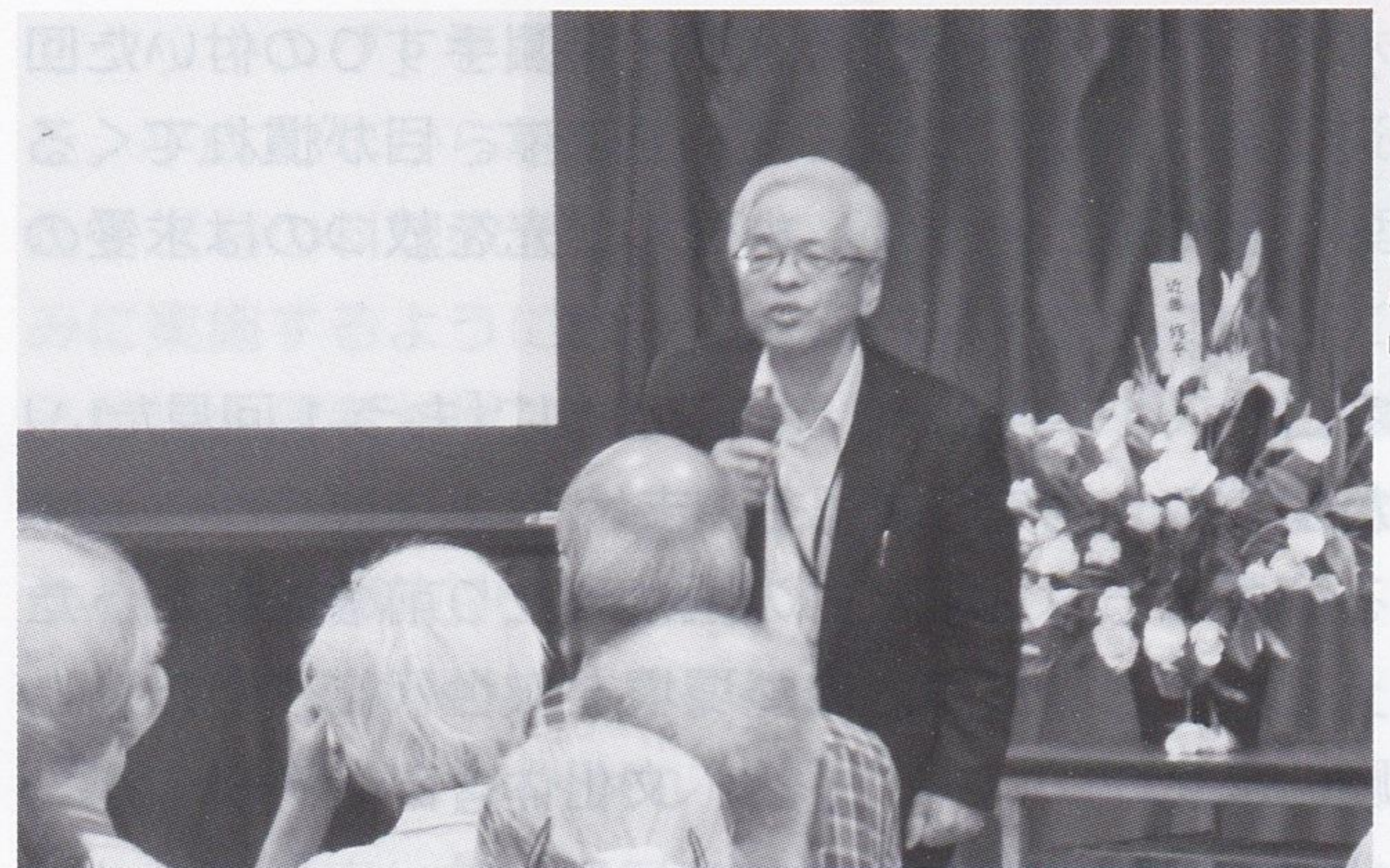
楽しく通って元気に暮らす

「コミュニティーのこのこ」オープン

6月22日(金)、増尾近隣センター体育室において「コミュニティーのこのこ」のオープニングセレモニーが盛大に催されました。

「コミュニティーのこのこ」は当ふる協地区社協部が運営する高齢者の通い場事業です。通い場とは、高齢者をはじめとする地域の方々が、住んでいる地域で元気にいきいきと暮らせるように活動しているふれあいサロンやコミュニティーカフェのことです。地区社協部は増尾地域の高齢者の方々の通い場として、あらたに「コミュニティーのこのこ」を発足しました。この活動は、柏市の通い場事業補助金を活用して運営しています。

基調講演をしていただいた東京大学高齢社会総合研究機構学術支援専門職員、木村清一先生の講義の中に「高齢者にはキョウヨウとキョウイクが大切である」との文言がありました。キョウヨウとは、今日用事があること。キョウイクとは、今日行くところがあること。そのひとつとして毎週金曜日、午前9時半から増尾ふるさと会館



木村先生の講演「高齢者の社会参加の重要性」

で活動している「コミュニティーのこのこ」をぜひ活用してください。

このサロンでは、折り紙、カラオケ、郷土史などさまざまな講座を用意してお待ちしています。体操や自彊(じきょう)術、口腔ケアなど身体の機能向上をはかる講座もあります。いつでも気軽に参加して楽しんでください。

コミュニティーのこのこ 田嶋 典子



いつまでもこの花のように美しく、フラワーアレンジメント



仲間と楽しく脳活性、健康マージャン

強風のホタル見学会

川柳入門講座

強風の中、午後8時ごろ増尾の森に大勢の人が集まっている。周囲は樹木で覆われ、真っ暗闇にヘイケボタルの淡い光が一筋、光っては消えわずかな水面に映える。「あっ、ひかった。ママあそこあそこ」と子どもの声。

7月4日(水)、文化体育部主催「ホタル見学会」が、中原小学校裏の増尾の森で開催されました。「柏ホタルの会」のご協力で、毎年、会主催の観察会「ほたるの夕べ」の開催日の合間に行っています。

当日は、強風が吹く中、親子連れや年配のご夫婦など子ども39名を含む総勢120名の参加がありました。リピーターが多いのもこの見学会の特徴です。

集合場所の増尾近隣センターから徒歩15分。「柏ホタルの会」の説明を受け、誘導されていざホタルの生息地へ。ボランティア手作りの、パイプ製手すりの付いた回廊式遊歩道を一步ずつ進んでいきます。目が慣れてくると、葉の上にぽつと光が。ホタルが光を放つのは求愛のサインとのことです。

見学コース1周が約10分。子どもに「もう1回見たい」とせがまれて2周する親子もいました。

ある高齢の方は「子どもの頃は当たり前の光景だったのに」と。小さな生命と自然環境を次世代に残したいと切に願います。文化体育部 高萩 郁勇

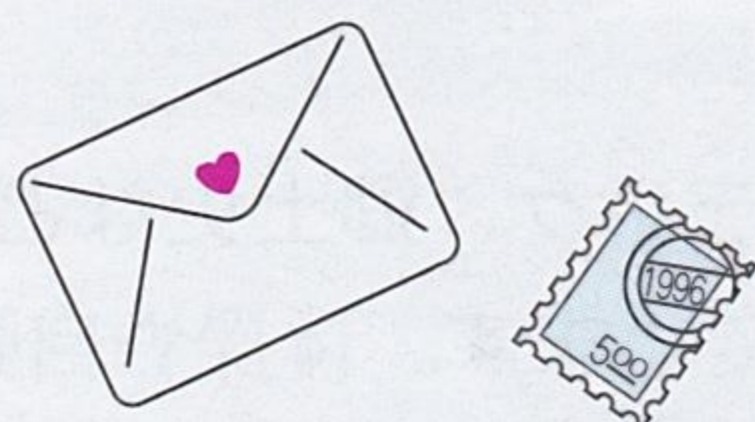
5月25日(金)、第1回目の川柳入門講座を開催しました。講師は佐竹明吟(めいぎん)先生、受講生は8名でした。

川柳とは、江戸中期に起こった庶民の文芸。俳句と同じ17音の定型詩です。表現は口語体が一般的です。人情や人の暮らし、世の中の出来事など身近なテーマが多く、初心者にも取り組みやすいそうです。虫食い川柳や作句の実際について教えていただきました。次回のテーマは「朝」、作句3句が宿題です。

6月22日(金)、第2回目は佐竹先生手作りの川柳用語ミニ辞典を読み、川柳作句の基礎的な用語の意味などを勉強しました。また、前回の宿題「朝」をテーマにした参加者の作品を選者の中康友さんが読み上げ、先生に講評をしていただきました。作句の選出には「秀」「客」「才」の順があり、互選で秀句を選ぶ楽しみも学びました。

受講生は、11月3、4日に開催するふる協文化祭に、1句を清書して展示します。その中の3句を紹介します。文化体育部 小林 みつえ

古い来たか 日覚ましよりも 早く起き せいこ
朝早く 挨拶するも 誰かしら 邦 賀
定年の ご褒美嬉し 朝寝坊 康 友



私の町会・自治会だより

皆さんの町会・自治会を紹介していくコーナーです。

新柏二丁目第一自治会

当自治会は、名戸ヶ谷第三公園(通称パンダ公園)と柏南高校の間の住宅地にあります。110世帯292名が7つの班で構成されており、加入率100%の自治会です。

自治会役員は、毎年各班から輪番で選出され役割分担で運営を行っています。2年前から自治会内に防災会を組織しており、前年度の自治会役員が防災会役員に就任します。いざという時は初動時における近隣との助け合いが不可欠であり、普段からのコミュニケーションが重要です。

当地域は柏第八小学校、中原中学校、柏第四中学校の学区にあり、柏南高校の通学路にもなっています。

子どもたちを狙う不審者問題は防犯対策の大きな課題のひとつです。高齢者を狙う犯罪にも対処が必要です。また、空き家や長期不在の手入れのされていない垣根の問題などもあります。このような防犯にかかわるさまざまな問題に、柏市地域支援課には真摯な対応をいただいています。

自治会運営の基礎は、近隣のコミュニケーションだと思います。ふる協で行われる催し物は、住民同士の交流の良い機会と考えています。どうしたら多くの人に参加していただけるのかを検討していきたいです。会長 菊澤 正視



ロディに大興奮

ちびっこ体操教室

6月24日(日) 土小学校体育館で文化体育部主催「ちびっこ体操教室」を開催しました。講師はおなじみの石原由紀子先生です。今回は風邪による子どもたちの欠席が多く9名の参加となりました。



ちびっこの友だち、4頭のロディ

例年は、増尾近隣センター体育室での開催ですが、今年は近隣センターが使えず土小学校の体育館で行いました。今年あらたに4体のピョンピョンロディを購入。ビニール製のロディにまたがり、子どもたちは大喜び。いつもより広い体育館で大はしゃぎです。

来年度はたくさんの元気な子どもの参加をお待ちしています。

文化体育部 小林 みつえ



パパやママと遊べて楽しいな

自分たちができること

救急救命講習会

7月14日(土)、今年も猛暑の中での実施となりました。内容はこれまでの普通救命講習ではなく、災害の時に家族で助け合うことを想定して「自分たちができること」をテーマに行いました。

東部消防署伊澤幸司救急隊長他3名による講習内容は三角巾を使用した訓練、傷病者の管理法、止血法、119番通報と指令員の口頭指導、救急車の適正利用、心肺蘇生法の継続、AED到着から操作まで。いずれもDVDを見てから実習しました。修了証が発行される既定の講習ではありませんが、その内容はこれまで携わったどの講習

会にも勝る、救急隊長肝いりの大変充実した内容のものでした。

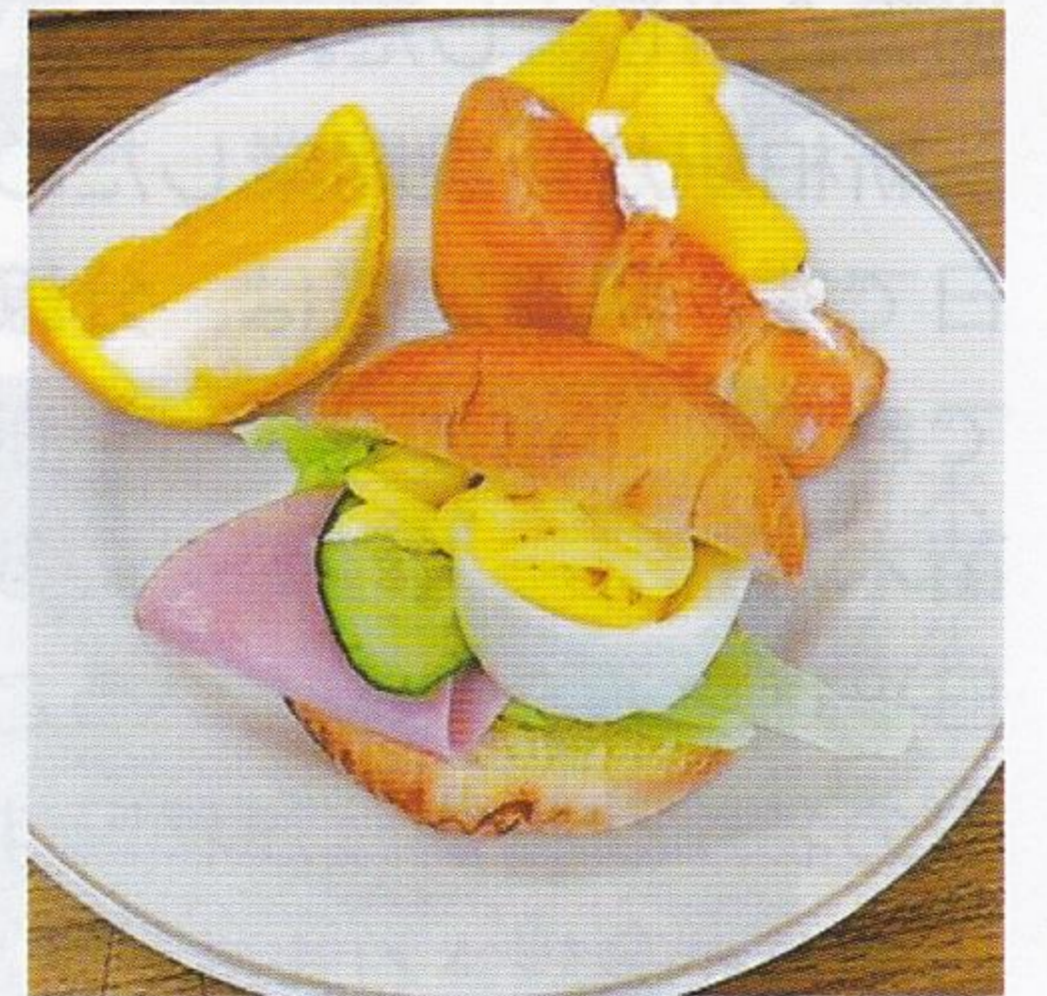
第三方面平川智康隊長をはじめ、地元消防団から名戸ケ谷分団3名、増尾分団3名の計7名が講師として参加して下さった事はビッグサプライズでした。地域の安全に一翼を担う方たちが、こんな身近に居ることを実感した今回の講習会でした。

次回10月27日(土)は「中高生と一緒に学ぶ応急手当・自分たちができること」をテーマに行う予定です。

防犯防災部 間宮 節子

見た目も味も最高!

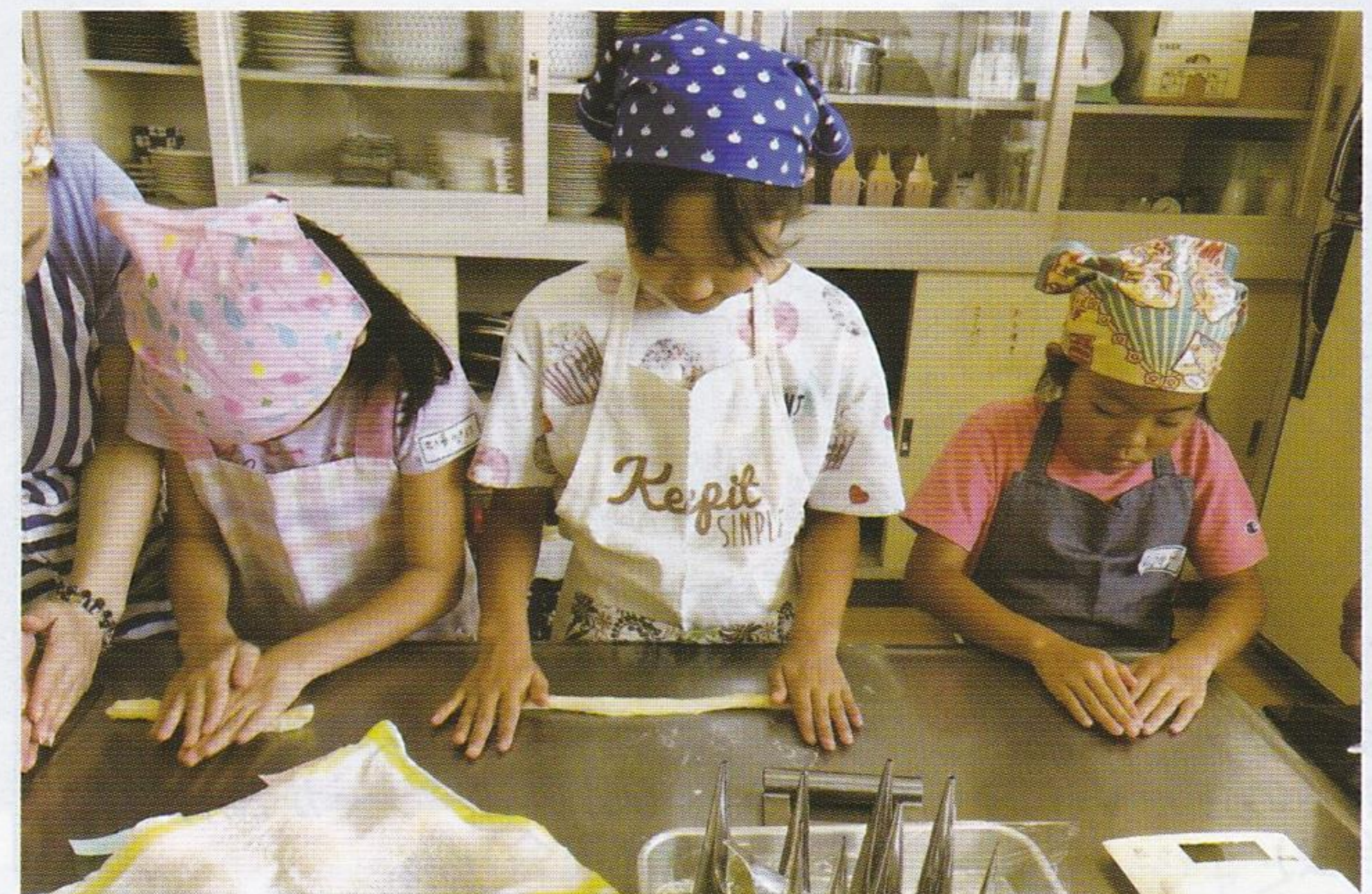
8月5日(日)、増尾近隣センター調理室において夏休み恒例の地区社協部主催「二人でクッキング」を開催しました。平成23年から継続してきた子どもの料理教室は、夏休みに実施するようになってから参加希望者が増加。今回もあっという間に定員オーバーとなり、キャンセル待ちになるほどの盛況ぶりでした。



今年は、流行のインスタグラム映える「カフェランチ風コロネサンド」「オレンジヨーグルトゼリー」「スープ」を作りました。コロネは、棒状に伸ばした生地を型に巻きつけて形を作り焼き上げます。パン屋さんのあのこぼしい匂いが部屋中に漂います。そして焼き上がったコロネの中にフルーツや野菜、ハム、生クリームなど思い思いのものを挟み、個性あふれるサンドイッチが完成。見た目も味も最高の出来上がりでした。

「パンは家で焼いたことがないので楽しかった」。こんな感想にスタッフもうれしい一日でした。

地区社協部 風間 理恵



コロネの作り方は、こねて伸ばして型に巻く

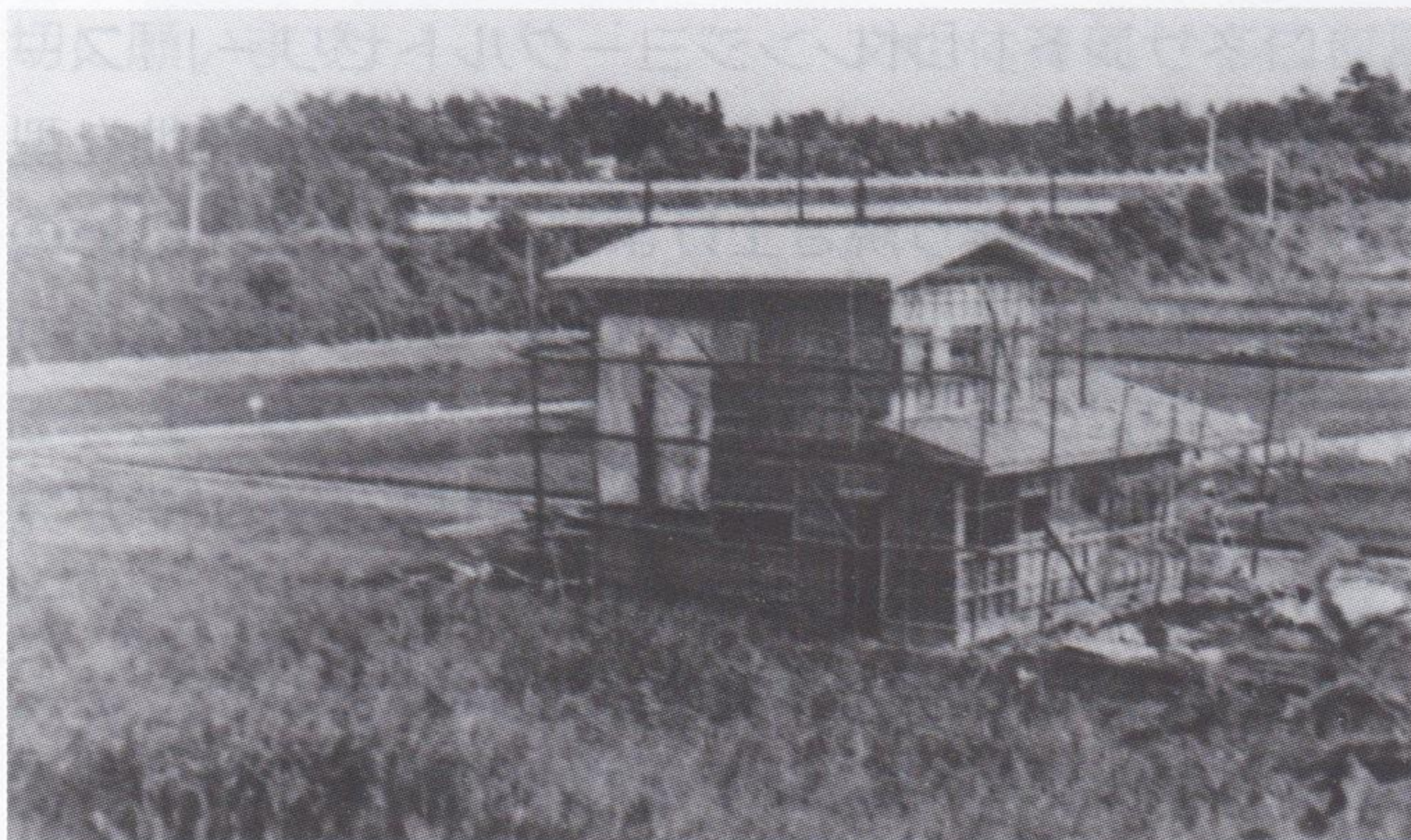
新柏駅開設35周年

東武新柏駅改札口前の壁面に約30枚の写真が展示されていて、多くの人が足を止めていました。新柏駅開設35周年を記念する写真展で、当時の駅や周辺の様子をうかがい知ることができます。説明文に、「仮称名戸ヶ谷駅として計画されたが名戸ヶ谷地区の一部が新柏に変更されることを考慮して新柏駅と決定した」とあります。駅の東口側は、見渡すかぎり田園風景でした。

柏市史年表によれば、野田線は、明治44年(1911)に県営軽便鉄道として柏-野田町間に誕生しました。その後、北総鉄道に払い下げになり、大正12年(1923)に柏-船橋間が開通、祝賀式は増尾停車場で行われました。総武鉄道と社名変更を経て、昭和18年(1943)に、東武鉄道と合併しました。

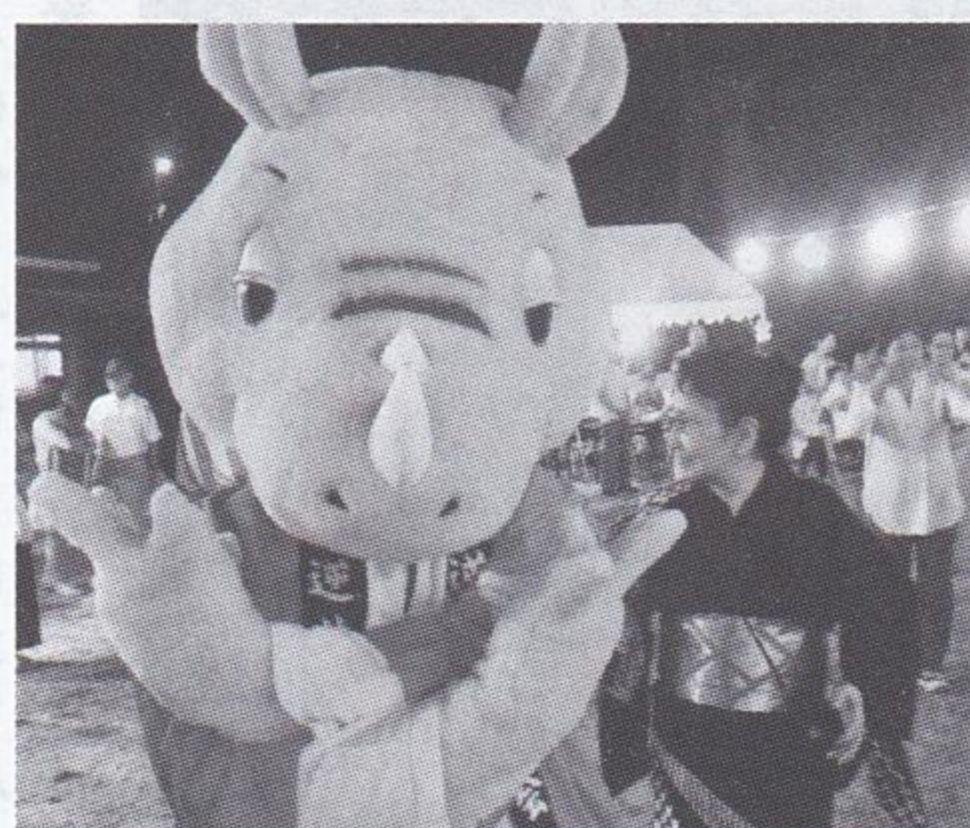
新柏駅が新設開業したのは、昭和58年(1983)7月21日です。駅周辺には、分譲マンションやスーパーなどができて都市化が進み、駅前通りも整備され250本の桜の苗木が植えられました。現在、新柏駅の乗降人数は、1日平均1万2千人ということです。駅の近くに新築工事中の名戸ヶ谷病院が移転すれば、ますます乗降者が増えることが予想されます。

東武野田線は、2014年に、東武アーバンパークラインと名称が変わりました。2020年には、柏-船橋間に急行電車が新設される予定です。 増尾町会 市岡 實



かつての新柏付近の風景

夏まつりだより



人気者のさかサイ君(南ヶ丘自治会)



光るカチューシャが流行です(増尾町会)

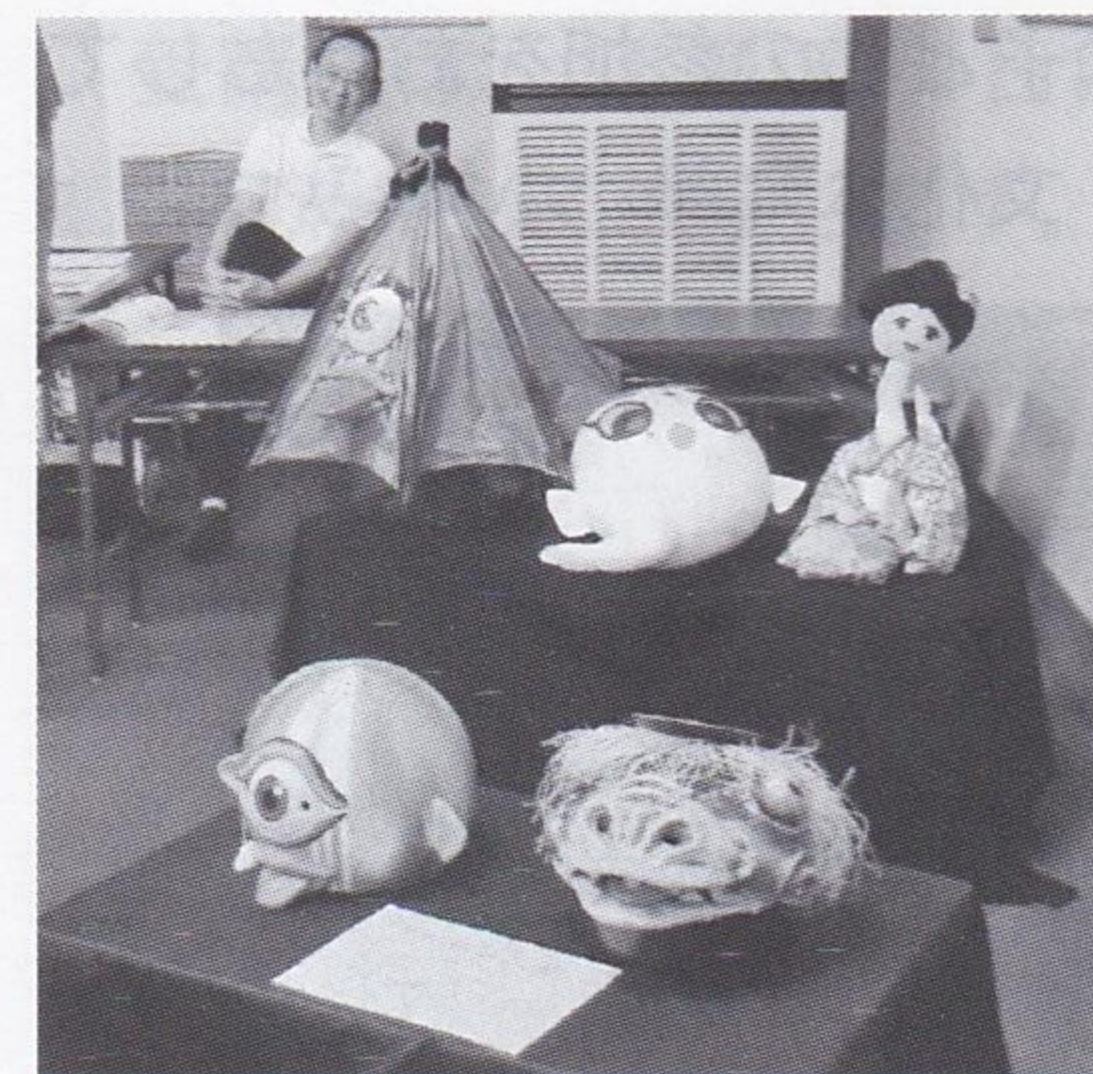
法林寺で妖怪・幽霊展

名戸ヶ谷の法林寺本堂で、8月12日(日)から16日(木)までの5日間、法林寺主催名戸ヶ谷町会協賛で恒例の「妖怪・幽霊展」が開催され、多くの家族連れなどでにぎわいました。

この展示会は法林寺の所蔵作品で構成され、約20年前から開催されています。檀家総代の藪崎家の「彌惣治(やそうじ)文庫」から貸し出しの形で始まり、その後コレクションの一部が寺に寄贈されました。近所の方々向けの公開であったのが徐々に評判を呼び、来場者数も年々増加しています。今年は雑誌「別冊太陽 幽霊画と冥界」やケーブルテレビなどで紹介されました。

作品数は約百点。伊藤晴雨や円山応挙作とされる幽霊画や小川芋銭(うせん)の河童(かっぱ)図、動物の妖怪図、百鬼夜行図など多彩です。

傘のお化けや一つ目小僧などの被り物のコーナーが設けられ、子どもたちに好評でした。



精巧なお化けの被り物

寺のお堂という異空間で、異界のものと過ごす夏のひととき。不思議で新鮮な非日常の感覚でした。

今年見逃した方は、来年のお盆をお楽しみに。

総務広報部

ふる協からのお知らせ

- 10月27日(土) 救急救命講習会(中高生対象)
 - 11月3日(土) 地域ふれあいのつどい
 - 11月3日(土)~4日(日) 文化祭
 - 11月3日(土)~4日(日) 環境フェア2018パネル展
 - 11月18日(日) ちいき探検ウォーキング
 - 11月22日(木) アロマ1日講座
 - 12月2日(日) つくってあそぼPart 6
 - 12月23日(日) 年末夜間パトロール
- ※詳細は回覧、チラシなどでお知らせします。

ボランティア募集中

障がい者福祉施設で、毎月第2・第4金曜日、午前9時30分から12時まで、簡単な作業(園芸、手芸他)のお手伝いをしてくださる方を募集中。

地区社協部 田嶋(TEL 7172-4683)まで、お問い合わせください。